

「和木町地域協育ネット」の取組について

【和木町 和木中学校区】

地域の概要

和木中学校区は、山口県の東端、小瀬川を挟んで広島県との県境に位置します。海岸沿いにコンビナートがあり、化学工業が盛んな地域です。

校区には保育所・幼稚園・小学校・中学校が1つずつあり、学校同士の連携が取りやすい状況にあります。また、地域住民は学校や町の行事等に大変協力的です。

人口	6,568人	
世帯数	2,777世帯	
対象校及び児童生徒数	和木中学校	184人
	和木小学校	412人

組織の内容

既存の社会教育委員会議を推進母体（地域協育ネット協議会）とし、複数のコーディネーターを配置しています。地域協育ネットの組織のイメージは右図のように考えています。

統括コーディネーターを派遣社会教育主事が担い、放課後子ども教室コーディネーターやPTA役員、母子保健推進協議会の役員に地域協育ネットのコーディネーターを依頼しています。

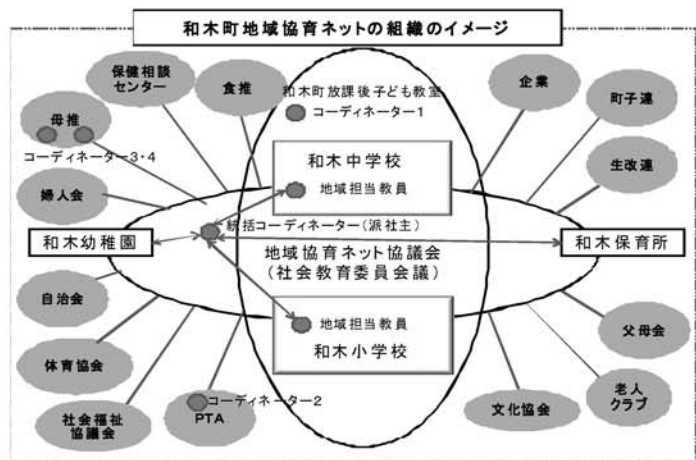
また、今年度から、小・中学校は、「地域担当教員」を校務分掌に位置付け、コーディネーターとの連絡調整を行っています。特に、中学校の地域担当教員に元派遣社会教育主事が就いたことで、中学校と地域の連携が格段に進みました。

地域協育ネット協議会は、年3回開催し、地域の課題を話し合ったり、新たな活動の提案をいただいたりしています。

放課後子ども教室の活動は軌道に乗っており、コーディネーターを中心に指導者及び安全管理員等、地域住民の支援を受けて運営されています。今年度は、山口県ひとつくり財団との共済事業を行い、内容の充実を図りました。今後も関係団体の協力を得ながら、活動内容の改善を図っていきたく考えています。

幼・小・中の連携については、教職員の合同研修会において計画的に進められています。今年度は、幼稚園での研究授業に小学校の児童や中学校の生徒が参加したり、幼・小・中合同避難訓練を実施したりするなど、新たな取組を行いました。「家庭学習の手引き」を作成するなど、家庭や地域と連携した取組も進められています。

本町における子育て支援の核となる組織である、母子保健推進協議会の役員にコーディネーターを依頼したことで、子育て支援関係団体とのネットワークづくりも軌道に乗ってきています。町内の子育て支援活動を紹介したパンフレットを、母子保健推進協議会の役員のコディネーターと保健相談センターの保健師が共同で作成し、保健相談センターの利用者に配布するなど、町長部局との連携も進められています。



地域協育ネット協議会の構成	学校関係者	4人
	地域団体関係者	7人
	PTA関係者	4人
コーディネーター		5人
ボランティア		約20人